

凍結による給湯器の破損予防のお願い

※凍結により、機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料修理になります。

給湯器の凍結予防

予防1

凍結予防ヒーター

給湯器本体は自動的に凍結
予防運転を行います

※電源プラグを抜かないで
ください

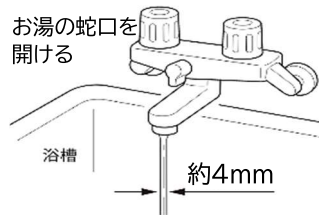


予防2

お湯の蛇口から水を流す

①リモコンの運転スイッチ
(電源)を「切」にする
※リモコンのない場合、給湯器の
ガス栓を閉める

②お湯の蛇口を開いて
少量の水を流したままにする



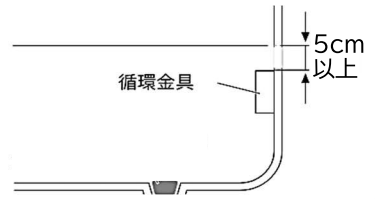
予防3

浴槽に水を溜めておく

※追い焚き付給湯器の場合

循環金具より5cm以上
水を溜めておいてください

※ポンプが自動的に浴槽の水を
循環させます



▲ もしも凍結してしまったら

気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

○すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

- ① リモコンの運転スイッチを「切」にし、台所などのお湯の蛇口を少し開けておく
- ② タオルを給水元栓のまわりに巻く
- ③ 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を、巻いたタオルにゆっくりかける

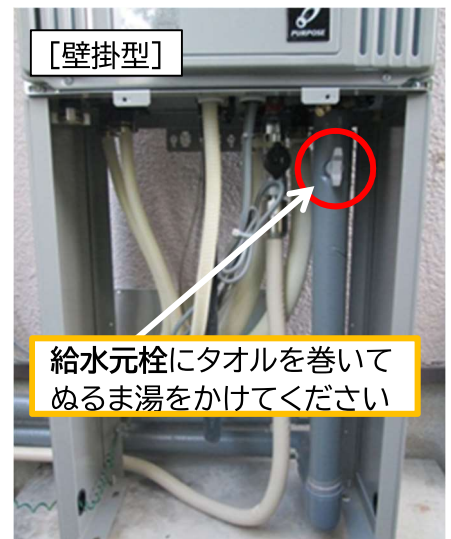
※熱湯をかけると配管が破損するおそれがあります

※ガス栓とまちがえないようご注意ください

※機器の電源コード・コンセントにお湯がかからないよう
ご注意ください

- ④ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、開けておいた蛇口を閉める
- ⑤ タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布で拭き取る

※保温材や配管に水が残ると、その水が原因で後に再び凍結
する恐れがあります。



筑紫ガス
CHIKUSHI GAS

TEL:092-923-3111